

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
広島県離島航路確保維持協議会	有限会社阿多田 島汽船	阿多田～小方航路 (離島航路構造改 革補助金含む)	(離島航路構造改革補助事 業) 離島航路の利便性向上と安 全で安定的な運航を確保す るため、離島航路構造改革 補助事業により、令和3年度 から令和4年度まで代替建 造事業を実施した。令和4 年度に建造が完了し、令 和5年4月から就航して おり、利用者の利便性が 向上し、安全で安定的な 運航を確保した。  (離島航路確保維持事業) 目標である計画運航回 数を確保し、増加傾向に ある海上釣り堀の集客に 対応するとともに、利便 性の向上及び安定輸送 を行った。	A	B	引き続き、利用者の利便 性、安全性を十分確保し 、海上釣り堀の集客に より収益増を図ること とする。	・概ね目標として設定し ている運航回数を達成 しており、事業は適切に 実施されていると評価 できる。  ・島内の道路修繕や郵便 局の工事関係が終了し たことにより、収入が 減少する一方で、貴重 な収入源となっている 釣り客の集客に対応し たことは評価できる。  ・公設民営の利点を生 かし、新船「悠風」の 就航を契機に修繕費の 削減や利用者全体の さらなる利便性向上に 努めることを期待す る。
広島県離島航路確保維持協議会	走島汽船有限公 司	走島～鞆 航路	新型コロナウイルスの分 類が変更となったもの の引き続き船内の消毒 及び清掃を定期的に 実施を行っており、清 潔で安心して利用で きるよう努めている。 また、わかめの陸上 養殖施設の製品も定 期的に出荷されており 、今後も安定的な利 用が期待される。	A	B	民宿の利用や釣り客 等が増加しているもの の島民人口が減少し ており、運行収入の 増加は見込めない状 況である。引き続き 航路事業者として安 心・安全な航路運 営に努めるとともに 島民や一般利用者の 利用促進のニーズに 対応する。	・概ね目標として設定 している運航回数を 達成しており、事業 は適切に実施されて いると評価できる。  ・前回評価で言及し ていた、陸上施設(糸 ワカメ養殖場)の開 設に伴い、旅客運賃 収入が増加している ことは評価できる。  ・今後も島民の減少 は予測されるが、糸 ワカメ養殖場利用者 や、釣り客といった 利用者が増加する 要素もあるため、要 望等を把握し、航 路全体の利便性向上 に努めることに期 待する。
広島県離島航路確保維持協議会	尾道市	細島～西浜 航路	船員の確保について、 令和3年10月から母 港を因島に移し、細 島、因島以外に住ん でいる人にも勤務し やすい条件とした。 また、市ホームページ で細島～西浜航路や 船舶を紹介し、船員 確保につながるよう 努めている。	A	B	島内人口が減少、高 齢化する中で、利用 者の利便性、安全性 が十分確保できる よう航路運営に努 める。	・概ね目標として設定 している運航回数を 達成しており、事業 は適切に実施されて いると評価できる。  ・船舶修繕費及び用 船料を昨年度より5% 以上減少させたこと は評価できる。  ・一方で、今後も人 口減少による利用減 は予測されるので、 安全運航に努め、持 続的な航路運営に 期待する。
岡山県離島航路確保維持協議会	三洋汽船株式公 司	笠岡～飛鳥～六 島航路	運航経費の削減に 努め、安定的な航 路の維持を図った。	A	A	島しょ部住民の高 齢化や人口減少が進 む中、日本遺産認定 を起爆剤として、今 後も引き続き、運 航事業者と行政が 連携を図りつつ、島 しょ部のイベント等 の活用や情報発信 を行い、島外利用者 の誘致によって、 航路維持を図る。	・概ね目標として設定 している利用者数を 達成しており、事業 は適切に実施されて いると評価できる。  ・withコロナシフト に伴う釣り客や、島 しょ部イベントの観 光客などの増加を とりにんだ利用者 増については評価 できる。  ・一方で、今後も 人口減少による利 用減は予測される ので、安全運航・ 経費削減に努め、 持続的な航路運 営に期待する。
岡山県離島航路確保維持協議会	三洋汽船株式公 司	笠岡～佐柳本 浦航路 (離島航路構造 改革補助金含む)	運航経費の削減に 努め、安定的な航 路の維持を図った。	A	B	島しょ部住民の高 齢化や人口減少が進 む中、日本遺産認定 や白石踊のユネス コ無形文化遺産登 録を起爆剤として、 今後も引き続き、 運航事業者と行政 が連携を図りつつ、 島しょ部のイベント 等の活用や情報 発信を行い、島外 利用者の誘致によ って、航路維持を 図る。	・目標として設定し ている利用者数は 達成できなかった が、過疎化に伴う 人口減要因による 部分が大きく、事 業は概ね適切に 実施されている と評価できる。  ・今後は、新船「つ むぎ」の就航を契 機に修繕費の削減 や利用者全体の さらなる利便性 向上に努めること を期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
岡山県離島航路確保維持協議会	大生汽船株式会社	大多府～日生 航路	運航経費の削減に努め、安定的な航路の維持を図る。	A	B	島しょ部住民の高齢化や人口減少が進む中、今後も引き続き、運航事業者と行政が連携を図り、島しょ部の観光資源の活用や情報発信を行い、島外利用者の誘致及び離島住民の生活を支える交通手段として航路維持を図る。	・目標として設定している利用者数は達成できなかったが、前年度より利用者数は増加しており、事業は概ね適切に実施されていると評価できる。 ・大多府(別荘地)への宿泊客や帰省客の増加により、収入が増加したことについては評価できる。 ・今後も引き続き安全運航・経費削減に努めつつ、自治体等との連携等を行うことにより、持続的な航路運営に期待する。
山口県生活交通確保維持改善協議会	上関町	八島～上関航路	釣り客等観光客は徐々に増えてきたので対応できた。燃料費の抑制などについても半年に1回の入札により経費削減に努めた。	A	A	島民以外の航路利用者を増やすために、島民と行政とが連携し、島の風景の観光事業や温暖な気候をPRした島旅の魅力を発信する。	・概ね目標として設定している運航回数等を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。 ・棧橋の工事により一時的に港が使えない期間があったが、通年でみると収入が前年度に対して増加していることについては評価できる。 ・今後も人口減による利用者数の低下が予測されるので、特産品の情報発信や釣り客の取り込みなど、交流人口を増加させ、航路の持続的な運航に期待します。
山口県生活交通確保維持改善協議会	牛島海運有限公司	室積～牛島 航路(離島航路構造改革補助含む)	島の過疎・高齢化に伴い利用者が減少する中で、航路を維持するために、コミュニティセンターや光市地域公共交通協議会等との連携による不定期航路事業への取組みやFacebook等を活用した情報発信等により利用促進を図った。また、利用促進と並行してマスクの着用や待合所・船内での会話の自粛や体温測定、手指消毒など新型コロナウイルス感染症に係る新たな日常の取組みを継続した。合わせて、経営健全化の観点から船舶修繕費等の経費削減に努める。	A	B	島の過疎・高齢化に伴い利用者が減少する中で、航路を維持するために、コミュニティセンターなど市関係機関との連携による不定期航路事業への取組みやFacebook等を活用した情報発信等により利用促進を図る。また、経営健全化の観点から運賃改定に向けた検討を進めるとともに、新船建造に着手し、運航経費の削減に努める。JRJT及び造船事業者と連絡を密にし、航路特性や利用ニーズを踏まえ、要求性能を満たすよう建造を行う。	・概ね目標として設定している運航回数を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。 ・SNSを活用した情報発信や、小学生を対象としたイベントを実施したことについては評価できる。 ・新船就航が予定されており、今後も、船員不足、利用者減に対応し、航路の持続的な運航に期待します。
山口県生活交通確保維持改善協議会	萩海運有限公司	見島～萩 航路(離島航路構造改革補助含む)	日々の点検の実施による修繕費の抑制や運航時のエンジン出力を抑えることで燃料費の削減に努めたが、原油価格・物価高騰の影響や見島航路高速船「ゆりや」のエンジン部分の修理等により、昨年度よりも燃料費や修繕費が増加となった。 昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いながら運航を実施した結果、旅客数全体は、対前年度比4.28%増、旅客運賃収入は、対前年度比7.96%増となった。 各島におけるイベントは一部ではあるが開催され、交流人口の回復及び航路利用者の回復に向けた取り組みに協力を行った。 相島航路新船フェリー「あいしま」が令和5年8月に予定通り就航し、関係団体と連携しながら、新たな乗船客の誘致に向けたイベント(各航路の船舶の体験航海)を実施し、海のすばらしさ及び離島の魅力発信を行った。	A	A	原油価格・物価高騰の影響により、燃料費や修繕費の単価増加が予測されるとともに、相島新船フェリー「あいしま」における燃料の使用量が以前の船舶「つばき2」に比べて増加することとなるが、引き続き可能な限り燃料費や修繕費の経費節減に努める。また、引き続き日々の点検を実施し、修繕費の抑制に努める。 また、県や市のFacebookをはじめとするSNSを活用し、離島航路の情報発信に努めるとともに、今後、離島振興に資する取り組みが実施される際にはイベント等の実施団体とともに交流人口の回復および航路利用者の回復に向けて取り組んでいく。 バリアフリー化により、乗降時の安全性や利便性が向上することで、島民や観光客等の利用者の増加を図り、安定的な航路経営を行う。また、船舶の大型化に伴う燃料費の増加が見込まれることから経済的な運航に取組む。	・概ね目標として設定している運航回数を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。 ・新船「あいしま」の就航に際しては、体験航海として社内各船舶無料乗船イベントを開催することで、更なる乗船客誘致の取り組みに務め、旅客数も前年度より増加していることは評価できる。 ・今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の確保・維持が図られることを期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
山口県生活交通確保維持改善協議会	大津島巡航株式会社	大津島～徳山 航路	<p>新型コロナウイルスが5類感染症に移行したことなどにより、運航収益についてはやや改善した。</p> <p>経費削減に努めたものの、燃料潤滑油費や船員費等の影響により運航費用が増加した。</p> <p>ホームページやXにより情報発信に努めた。</p>	A	A	<p>島民の減少等により、旅客運送は今後も減少傾向が見込まれる状況であるが、航路の維持に向け、引き続き船費等の経費削減に努め、経営改善に取り組む。</p> <p>また、引き続き関係機関と連携し、新船建造や効率的な運航体制の構築に向けた検討を行う。</p> <p>併せてホームページやX等により積極的な情報発信に努める。</p>	<p>・概ね目標として設定している運航回数を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。</p> <p>・航路改善計画に沿って、航路事業の効率的な運航体制を検討したことは評価できる。</p> <p>・今後も地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の確保・維持が図られることを期待する。</p>
山口県生活交通確保維持改善協議会	上関航運有限公司	祝島～柳井 航路	<p>期間途中から来島自粛要請が全面解除になり、帰省客、釣客等の輸送人員が増加した。SNS等での「いわい」の情報発信は継続して行った。</p> <p>軽油の高騰により燃料潤滑油費は増加した。</p>	A	A	<p>SNS等で祝島やいわいの情報発信をして行き、島民や行政、地元関係者と協力し島のアピールをして帰省客、釣り客、観光客の集客に取り組む。</p> <p>また、経費削減に努め、航路運営の効率化を図る。</p>	<p>・概ね目標として設定している運航回数を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。</p> <p>・棧橋の工事により一時的に港が使えない期間があったが、通年でみると輸送人員・収入が前年度に対して増加、費用が減少していることについては評価できる。</p> <p>・今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の確保・維持が図られることを期待する。</p>